

Sunフロア 表面強化材
コンクリート表面強化材

- | | |
|-----------|---|
| □ 規 格 表 示 | — |
| □ 特 徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・工場床や倉庫床、駐車場等の屋内外コンクリート床に適しております。 ・セメント成分と反応しコンクリート表面を強化します。 ・水性でほぼ無臭なので環境に優しいです。 |

□ 塗料性状

色		青色半透明				
密度 (g/cm ³) (23℃)		1.2				
光沢		—				
引火点		—				
発火点		—				
消防法表示	化学名	—				
	危険物区分	—				
	危険物等級	—				
有機溶剤区分		—				
毒劇物表示		—				
有害物表示		—				
ホルムアルデヒド 放散等級	登録(認証)番号	A05042				
	区分表示	F☆☆☆☆				
	問合せ先	http://www.toryo.or.jp				
国連／指針番号		3266／—				
環境性能	クロピリリス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラデカン	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアジノン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノカルブ	配合せず	鉛	配合せず		
TVOC		0.0%				

- 塗 装 基 準
荷 姿 : 18kg
希 釈 剤 法 : なし
塗 装 方 法

塗装方法	ジョウロ等で散布後、ブラシやモップ等で塗り広げる
希釈率	—
使用量	0.15～0.3kg/㎡/回 1コートのみ

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・吸い込みが著しい場合は再度塗り直しをください。材料だまりがある場合には白化の原因となります。
- ・施工後30分程度経過後、余剰材料を水洗いもしくは濡れモップ等で十分に水拭きしてください。

□ 乾 燥 時 間

	5～10℃	23℃	30℃
開放時間	24時間以上	24時間	24時間

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・ 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・ 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・ 下地コンクリートが新設の場合は2週間以上養生をとってください。また下地コンクリート表面のレイトス、エフロッセンスなどの粉化物、ぜい弱部はポリッシャー等を使用し十分に除去してください。
- ・ 余剰排水は強アルカリであるため廃棄に注意してください。
- ・ 養生は24時間以上とってください。乾燥後、歩行は可能ですが水がかかると樹脂が溶出する可能性があります。
- ・ 施工に関しての詳細な注意事項は標準施工仕様書をご参照ください。
- ・ 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・ 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・ 室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください、居住者へのご配慮お願い致します。
- ・ 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用してください。
- ・ 塗装時および材料の取り扱い時は、換気を十分に行ってください。
- ・ 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

Sunフロア 表面強化材
コンクリート表面強化材

□ 成 分 表

			水					52
ケ	イ	酸	ナ	ト	リ	ウ	ム	48
合							計	100

□ 性 能 表

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様である。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆: 0.12mg/L以下	合格

・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。